

DXによる食品スーパーの生産性改善 ～フェーズ1～

総事業費 10,329,400円

事業者名 : 生活協同組合コープおきなわ (所在地:浦添市/業種:小売業)

事業内容

事業目的/概要

- 事業目的
店舗事業の効率改善を進め、生産性の高い事業構造へ転換する。
- 事業概要
賞味期限管理システムの導入
実績分析システムの導入

連携IT企業

- 事業者名 : 株式会社OCC

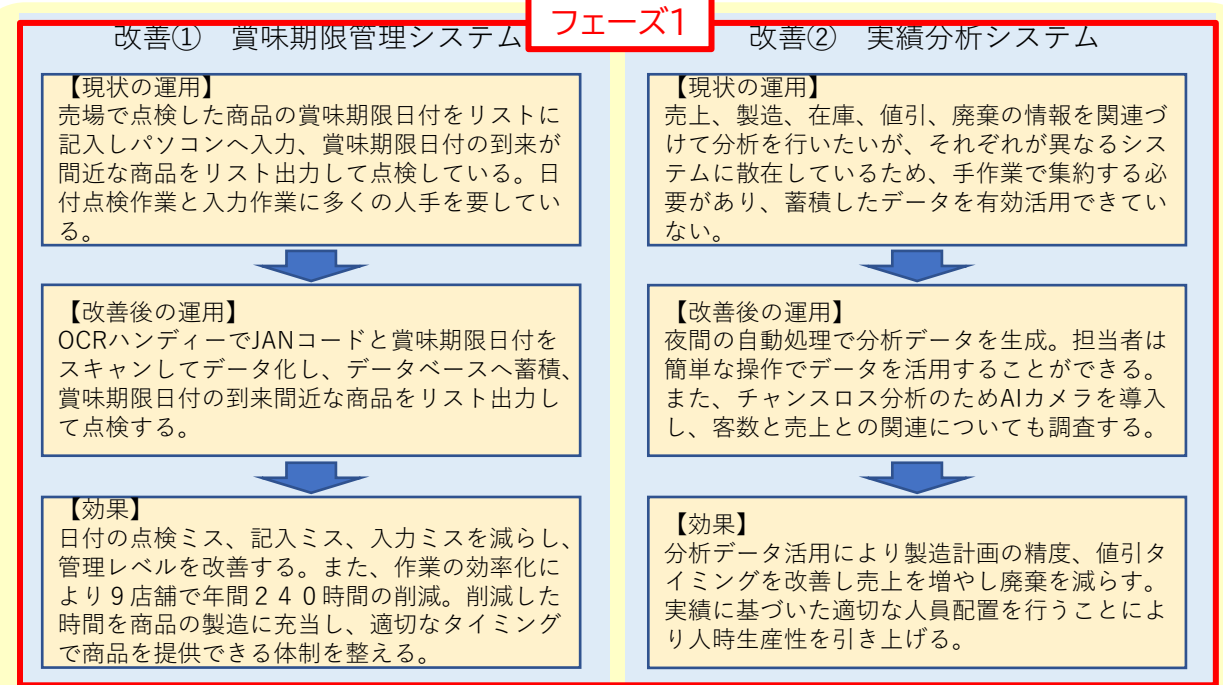
本事業で見込まれる効果

- 賞味期限管理の精度向上と投下時間削減による人時生産性の改善
- 実績データを活用したムリ・ムラ・ムダの少ない製造計画と投下計画により荒利益と人時生産性を改善
- 来店者の行動分析に基づいた製造計画と品揃えによる機会損失の削減

本事業終了後のビジネス展開や今後のDXに向けた取組

実績分析に基づいた製造計画と投下計画により、売場の管理レベル向上を目指す。製造計画を原料自動発注システムへ連携することにより、現場の作業負担軽減、売上と利益の改善を実現する。

事業概要スキーム等



フェーズ2:実績分析システムの利用拡大
フェーズ3:製造計画システムの導入

～めざす姿～



業務効率化により働きやすい職場と来店者に喜ばれる充実した品揃えを両立します。来店者と店舗を運営する職員の双方が、生活の質向上を実感し、豊かな暮らしを実現できることを目指します。